

伊集院保健所感染症情報

2025年第4週（令和7年1月20日～令和7年1月26日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第1週	第2週	第3週	第4週	先週からの増減	第3週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	58.40	36.80	16.40	9.40	↘	24.53	↘
COVID-19	—	—	—	9.60	7.20	5.00	2.80	↘	4.39	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	1.00	0.00	1.33	↗	0.57	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	1.33	2.00	3.00	3.33	↗	2.31	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	2.33	2.00	4.33	4.00	↘	5.12	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.22	↘
手足口病	5	2	—	1.67	0.33	0.00	0.33	↗	0.20	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.10	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.27	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

2月4日は風しんの日です

風しんの抗体検査はもう受けましたか？

風しんは、風疹ウイルスに感染することで発熱や発疹、リンパ節の腫れなどが現れる疾患です。子どもが罹った場合は比較的軽症で済むことが多いですが、大人が罹った場合は症状が重くなる場合があります。また、妊娠初期の妊婦さんが風しんウイルスに感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目・耳・心臓に障害が起こることがあり注意が必要です。

厚生労働省では、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、令和7年2月末まで、原則無料で風しんの抗体検査と予防接種を受けていただけるキャンペーンを行っています。

この年代の男性の皆様には、過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんに罹り、家族や周囲の人達に広げてしまう恐れがあります。あなた自身とこれから生まれてくる世代の子供を守るために、是非、クーポン券を使って風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう。クーポン券はお住まいの自治体から既に送られていますが、届いてない方や失くされた方はお住まいの市町村にお問い合わせください。

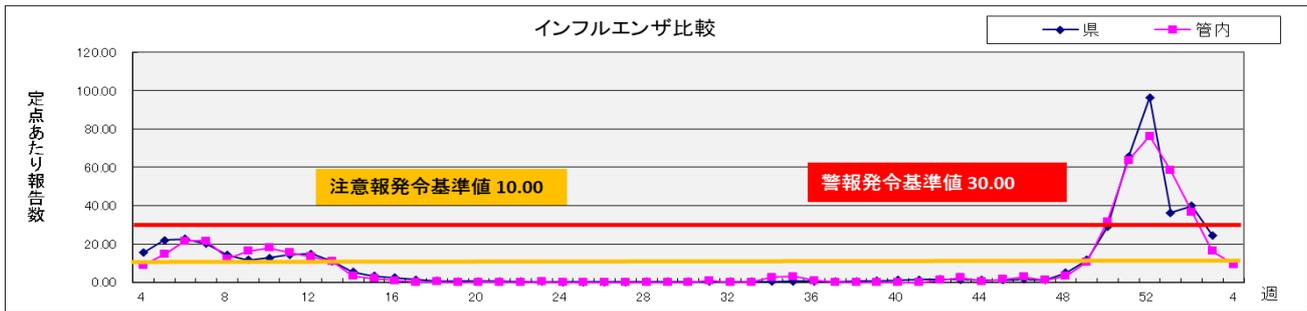
また、鹿児島県でも、妊娠を希望する女性やその同居者等を対象とした風しん抗体検査を無料で実施しています。詳しくは鹿児島県のホームページをご確認ください。

詳細はこちら→



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ

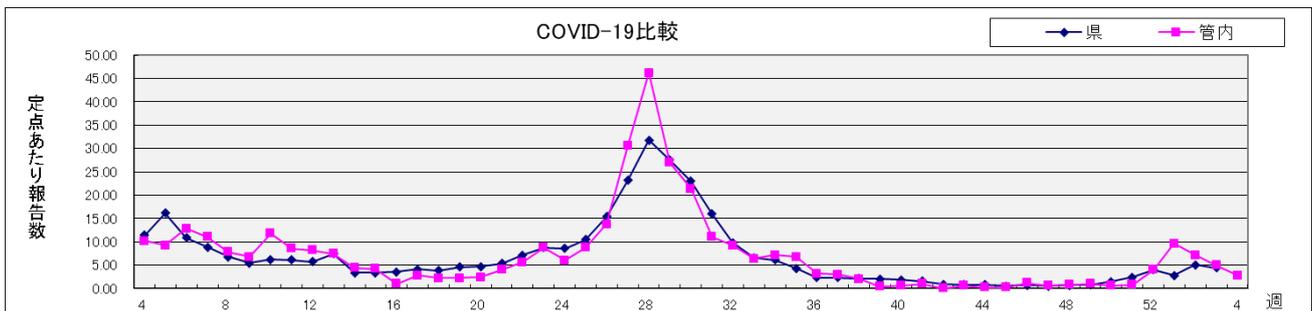


第4週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、3週の82人（定点当たり16.40）から35人少ない、47人（定点当たり9.40）となったことから、管内におけるインフルエンザ流行発生警報を解除しました。

年齢別の報告では、4歳・10～14歳（各8人）、1歳・15～19歳（各4人）、5歳・6歳・80歳以上（各3人）、3歳・20～29歳・30～39歳・70～79歳（各2人）、6ヶ月～11ヶ月・2歳・7歳・9歳・40～49歳・50～59歳（各1人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。これにより、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・COVID-19



第4週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、3週の25人（定点当たり5.00）から11人少ない、14人（定点当たり2.80）となりました。

年齢別の報告では、10～14歳・30～39歳（各3人）、70～79歳（2人）、1歳・2歳・5歳・15～19歳・20～29歳・50～59歳（各1人）となっています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができているか見直しをしてみましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/20～1/26（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第4週の出席停止については、インフルエンザ患者が40人（内訳：非型別インフルエンザが25人、A型インフルエンザが15人）、流行性耳下腺炎が1人、感染性胃腸炎が5人、マイコプラズマ感染症が1人、COVID-19が8人報告されています。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	感染性胃腸炎	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市	24	12	0	5	1	4
いちき串木野市	1	3	1	0	0	4
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	25	15	1	5	1	8